

令和3年度第1回部活動部会 会議要旨

と き 令和3年6月4日(金)

ところ 北方南小学校 校長室

※会議の主な内容は以下のとおり

司会者：定刻になったので、令和3年度第1回部活動部会を開始する旨を告げる。

(18:30 開始)

(今年度初めての会議なので、自己紹介を行う)

事務局：北方学園クラブと部活動について資料をもとに説明し、意見を求める。

○スポーツ少年団や部活動、ジュニアクラブを「北方学園クラブ」という1つの組織にして運営してはどうかと考えます。

⇒部活動にはあるがスポーツ少年団にない種目、例えばソフトボールなどは、小学生の時には野球少年団へ加入したり、他市のクラブで活動されているようですが、小学校5年生から部活動に参加できれば、そのまま北方町で活動でき、つなげていくことができると思います。

⇒部活動に小学校5年生から参加できるとなると、競技ごとにネットの高さやボールの大きさなどいろいろな面で配慮が必要となります。また、指導者の育成も必要となりますが、組織化されることにより、指導者も連携が取りやすく、指導方法なども統一でき、子ども達も悩むことなく練習に励むことができると思います。

○部活動の顧問である教員は3～5年で異動となりますが、地域の指導者である社会人コーチは、現在のコーチでも20年以上続けて指導してくださっている方もおり、長期間一貫して指導できます。

⇒学校の働き方改革を踏まえた部活動改革では、令和5年度から休日の部活動を段階的に地域移行していくとあります。北方学園の開校と同時期となりますので、今後この動きを加速化されるとよいと思います。

⇒北方学園クラブが先進的な事例となるのであれば、ぜひ成功させたいと思います。

⇒小学校5年生から部活動に参加できるようになれば、早くから興味を持ち、スポーツに親しむ機会ができるのでよいと思います。

⇒競技スポーツだと競争になってしまうので、子どもたちにとって何が大事なのかということを中心にきちんと定めて活動する必要があると思います。クラブという1つの組織に一本化し、あくまでも子どもが主体で、指導者はアドバイザーとなり、それを保護者がサポートするという体制づくりができるのでよいと思います。また、継続していくために、規約などにこれらの活動をする目的をしっかりと謳う必要があると思います。

⇒スポーツ少年団と部活動やジュニアクラブで連携を取って指導してもらえることはよいと思います。中学校から部活動へ加入すると、既にスポーツ少年団からやっている子に比べ

レベルの差ができ、一生懸命練習しても、試合に出してもらえないことがあると聞きます。そういったことがあると、せっかく練習を頑張っても楽しくなく続けられないと思います。また、小学生の時からやりたいスポーツがあったとしても、スポーツ少年団だと保護者の負担が多そうで、子どもにあきらめさせざるを得ないこともあると思いますが、小学校5年生から部活動に参加できるのであれば、保護者の負担もそれほどなく、親も安心してやらせてあげられるかもしれないと思います。

⇒地域へ移行するとなれば、保護者の負担も増えるかもしれないと思います。3者の協働的運営のバランスが均衡であればよいですが、そうでないと難しいかもしれません。

○北方学園クラブに、運営委員会や実行委員会を設置する予定でいるので、こういった運営体制がしっかりしていれば大丈夫だと思います。

⇒北方学園クラブの発足に大賛成です。子どもの数は減って、一部の部活動などは存続の危機であるという話も聞きます。小学校5年生から参加できれば、一緒に練習する人数も増えるのでよいと思います。

部会長：本日の協議は以上とする。次回は8月6日(金)18時30分からとする。

(20:00 終了)